

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 9月 12日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200445		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホームほのぼの苑五日市八幡		
所在地	広島市佐伯区八幡5丁目16-10 (電話) 082-927-8400		
自己評価作成日	令和5年8月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200445-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200445-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様の好みに合わせて旬の野菜を使った手作りの食事を提供し家庭的な雰囲気ですべて自由に過ごして頂くように努めています。苑庭で作った野菜の収穫を一緒に行っています。新型コロナウイルス感染症も5類に変わり規制が緩和されました。ご家族との面会、外出も自由にしていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

職員一人ひとりが毎日業務に携わる中で、その日の目標を決め、利用者が笑顔で毎日を過ごせる事を考え、心に寄り添うケアが出来るよう実践している。食事のこだわりとして、3食手作りの料理を提供している。畑で収穫した野菜や旬の食材を使用した行事食や誕生日には好きな物や食べたい物、おやつ作りや生活リズムとして下ごしらえ、テーブル拭き、食器洗い等楽しみながら出来る事を行っている。健康のこだわりとして、行事や催し物等で、頭や身体を使っての体操など笑顔が見られるよう工夫しながら取り組んでいる。常勤の看護師の健康管理や緊急時には医療機関との連携体制も図っている。防災のこだわりとして、毎月避難訓練を行い非常時に備えて、水・非常食・懐中電灯などを整備し、夜間帯勤務職員は防災管理者資格を取得するなど防災意識の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝のミーティングで理念を唱和し当日のスタッフが目標や思いを言葉にしている。	地域の中で毎日が笑顔で生きがいのある生活を営む上で職員が個々にその日の目標を具体化し実践している。利用者の一人ひとりの思いや気づきを申し送りノートに記載し、情報共有を行い、心に寄り添うケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会、ご近所の方とも以前は交流をしていましたが3年間のコロナ禍で外出交流が控えられて出来ていないのが現状です。	ボランティア来訪やお祭りの参加など現状では出来てないが、近隣の方から、花の頂き物や出会った時に挨拶をしている。今後は回覧板や運営推進会議出席者の町内会長からの情報などを得て、町内会行事に参加する等検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在はコロナウイルス感染対策で出来ていなかったが 介護相談会を再開して地域の方の役に立つように進めていきたい。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナウイルスの拡大のため紙面で近況を報告し意見を頂いておりました。あたたかいお言葉を頂いております。話し合い、サービスに反映までは出来ていない現状です。	運営推進会議は資料や「ほのぼの通信」の送付や電話、出向く等して書面での会議の継続をしている。「ほのぼの通信」に日頃の様子や行事、誕生日会等の近況報告をし、意見交換の場になるよう努めている。9月から家族、町内会長、地域包括支援センター職員などが参加して、従来通りの会議を予定している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者と連絡をとる場面がほとんど無かったため協力という事はしていない。	市主催の研修、介護保険課に相談や地域包括支援センターへ運営推進会議資料の送付等で情報共有し、意見交換等行い積極的に取り組み良好な関係づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の勉強会、身体拘束適正委員会を開催し定期的にスタッフに周知し振り返って身体拘束にあたるのではと認識し身体拘束のない介護に取り組んでいる。	月2回に勉強会、身体拘束適正委員会は3ヶ月に1回開催し、身体拘束による弊害を周知し、毎月のスタッフ会議前に個々に虐待チェックリストに記入し、振り返りを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	毎月スタッフ会議の日に虐待の芽チェックを行い話し合いを行っている。直接はスタッフに言えない事も気づく機会になっている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間の勉強会のスケジュールに入れスタッフに認識してもらっている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に事前説明を行い、契約前、契約後も疑問に思われる都度、何度でもお答えしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、また電話での連絡を受付対応している。また改善できることは迅速に対応している。	感染状況を踏まえての面会時や電話の連絡、写真付きの「ほのぼの通信」を通じて意見が出しやすいよう工夫している。頂いた意見等、話し合い改善できる事は迅速に対応している。	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度のスタッフ会議を行い上司が同席し意見や要望など聞いている 反映できることはしている。</p>	<p>月1回のスタッフ会議で意見や提案を聞く機会を設けている。職員の意見の反映した例で感染症予防対策を取る上で、必要性な物として机の購入をしたことがある。日頃の支援方法等、毎日の申し送り時や業務を通じていつでも話せる環境づくりをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年1度 給与、処遇改善等の見直しをしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内部研修、オンライン研修等に選ばれたスタッフが参加 他のスタッフに伝達を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>コロナウイルス感染拡大のため出来ていなかったが今後参加していきたい。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>スタッフが都度、困っていることや今までの生活歴など聞き取りながら習慣や考え方思いを考察するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居事前相談から入居前の説明時、サービス開始前からご家族の困りごと、要望は聞くようにしている。また入居後の意見や質問にも真摯に答えるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	今までの生活歴や性格 エピソードを聞き取り利用者様の思いを理解し自分らしい生活をして頂けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お盆拭きや食器洗い洗濯物たたみ、食事の下ごしらえ、おやつ作りなど一緒にして頂いている。忙しい時 手際良く手伝って頂き感謝の気持ちを伝えている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	出来るだけご家族、友人、親戚の方等、施設に足を運んで頂きまた外出して頂くよう声をかけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族や友人、知人に面会に来ていただきまた出かけて頂けるように声掛けをしている。	面会や電話の取り次ぎ、手紙のやり取り、返信が出来ない方には電話で本人の声を伝える等している。2か月に1回の訪問美容、家族の協力を得て馴染みの美容院や日帰りの外出、ドアを開けるとユニットごとの往来も可能で、馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う利用者様との会話が出来る様に席を配慮したり、ソファでくつろいで会話が楽しめる様にその時その時で配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後も近況報告を頂いたりご希望あれば写真のデーターを差し上げたこともあります。相談して頂く事があれば対応していく所存です。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	他の利用者の迷惑にならない限りは自由にリビング、居室を行き来して頂き自分のペースで生活できるよう意思を尊重している。	生活歴や家族からの情報、日常の会話や生活の中で、思いを個々の生活記録に記載し、表出の困難な利用者は、表情、気分、声質や音量で汲み取り情報共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話や家族さんからの情報を得て生活歴や趣味、お仕事を聴きながらサービスに取り入れるよう努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタル測定や精神状態をナース・スタッフが表情や動きから把握し、情報を共有するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の気持ちを聞きご家族、スタッフが必要があれば主治医、専門医と相談しながら本人にとって何を課題にするか検討をしている。</p>	<p>利用者、家族の意向を踏まえた介護計画を作成している。3か月に1回モニタリングを行い、見直しが必要であればアセスメントを行い、利用者、家族の要望や医療機関の助言、職員の提案やアイデア等が反映された現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の個人記録、申し送りに記入し毎日の申し送り、記録にて出勤者が共有出来る様にノート、事故報告等回覧している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>なかなか外部のサービスは利用していないが多方向から意見や案を出して頂き柔軟に対応していきたい。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナウイルス感染拡大のため出来ていなかったが今後 地域資源をしっかりと把握して利用者が生活の質を上げる事が出来るよう活用したい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族の意思を尊重し主治医を決め、またはかかりつけ医の医療を受けて頂いている。</p>	<p>利用開始時、かかりつけ医の継続が出来る事を説明している。緊急時の対応を考慮して事業所の協力医療機関をかかりつけ医に移行の利用者もいる。協力医の月2回の訪問診療や常勤看護師により健康状態が把握でき、医療機関との連携体制も整っている。専門医受診は基本家族対応であるが、緊急時には柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	夜勤スタッフ、日勤スタッフは日々の介護から特変や変化を感じた事をナースに伝え記録をしている。必要があれば家族に報告相談をし受診、処置等の対応をしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には普段の生活の情報を医療連携室または病棟の看護師に提供し退院時の連絡をとり家族と退院の調整を行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に説明をしているが必要時には詰めて何度も繰り返し事業所で出来ること、出来ない事を話し合い相談しながら進めている。	利用開始時、終末期のあり方について説明確認をしている。重度化した場合、必要時には何度も話し合い、家族や医療関係者等とカンファレンスを行い、方針を決め、連携を図りながら食べられる物は、食べてもらう等、利用者、家族に寄り添う支援をしている。看取り後は振り返りを行っている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応は定期的に訓練し勉強会を開いている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に避難訓練、消防署の指示を頂いている。またライフジャケットの装着訓練やシミュレーションを行っている。町内会との関係も保っている。	毎月避難訓練をしている。水消火器を使用しての実施や実際にライフジャケットを装着しての避難経路確認等、利用者と共に実施している。マニュアル整備や非常時に備えて備蓄も整えている。	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	丁寧な言葉使いを心掛けているが時折親しみを込め言葉がため口になることもあるが適切な言葉を使う様に気を付けている。	プライバシーや人格を尊重し、本人の意思を損なう事のないよう声掛け等、適切な言葉の対応をしている。不適切な言葉や声掛けには、その都度注意や虐待チェックリストを活用し、自問自答で振り返り、節度ある言葉掛けができるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活での場面で無理強いしないように本人のペースで入浴を促したり食事の声掛けなどを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活での場面で無理強いしないように本人のペースで入浴を促したり食事の声掛けなどを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合った衣類から本人の着たい物を選んで頂きアクセサリーもご自分で選んで装着されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様に何が食べたいかリクエストしていただいたり誕生日メニューの希望を聞いたりしている。下ごしらえやいなり寿司など、一緒にして頂いている。	家事担当者が旬の食材、畑の野菜を使った手作り料理を提供している。食べたい物のリクエスト(時にはラーメン等)誕生日メニュー、行事食、おやつ作り(おはぎやぜんざい等)個々にあった食事形態で提供している。利用者は盆拭きテーブル拭き、食器洗い等職員と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量の調整や食事形態を一人一人刻みや一口大ミキサー食などに工夫し栄養をバランスよく摂って頂くよう工夫している。また水分は好みで砂糖等調整している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後 口腔ケアを促し必要であれば介助で口腔ケアを行っている。夜間は入歯の洗浄と保管をおこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>なるべく時間を見てトイレ誘導をし排泄委員がパットの使用量を計算し分析している。</p>	<p>排泄チェック表で個々に排泄パターンを把握し、声掛け誘導を行い、手すりや跳ね上げ式のテーブルを設置し、トイレで座位での排泄に繋げている。尿量や排泄回数を把握し、経済面等にも配慮して個々にあった衛生用品を使用している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>消化の良い食物繊維の多い食事と水分摂取またリハビリ体操を行い便秘の配慮をおこなっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>気分の乗らない利用者様には無理強いせずなるべく体調が良く気分が良い日に入ってもらえるよう融通をきかせている。</p>	<p>週2回が基本である。1対1、同性介助、身体状況によっては2人介助をしている。無理強いせず、気持ちよく入浴出来るよう柔軟に対応している。入浴剤、ゆず湯、入浴後の保湿剤塗布や着替え等、個々に応じた支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	起床の時間、就寝時間を本人のタイミングで出来る様に配慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬のチェック表をスタッフが毎日ダブルチェックしている。薬局から薬の情報(効能と副作用等)が閲覧できるように個人ファイルに入っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	笑顔が見られるように会話や歌を提供したり銀行員だった方にはそろばんで計算して頂いたり食後の片付け掃除を手伝って頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルス感染対策のため外出は出来ていなかったが苑庭や近隣のお散歩はこまめに出かけて頂いた。家族との外出も出来る様になったので勧めていきます。	コロナ禍で外出が困難な中で、畑に四季折々の野菜の植え付け、水やり、収穫、収穫した野菜を食事の献立の中に使用する等、畑仕事が楽しみになっている。今後、コロナ禍が緩和されれば、家族との外出や散歩、買物も検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と本人が相談して所持されている方もいらっしゃいます。ほとんどの方は所持されず必要な物は本人が要求され家族に持って来て頂いています。		

自己評価	外部評価	項目( 東ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望があればご家族に電話、ipadでのオンライン面会を行っています。ご家族からのお手紙、お電話は取り次がせて頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	朝、リビング、居室のカーテンを開けて苑庭が眺望できるようにまた気持ちよく生活できるように室温の調整をしています。また季節の壁紙やお花を飾ったりしています。	居間から畑が眺められ外に出て水やりや収穫を行っている。壁面に季節の展示物や良く見える場所に時計、手作りカレンダーを掲示している。感染症予防対策を考慮して机の配置や寛げるようソファ、利用者の体型に合せた足台やクッション、空調管理も行い利用者と共に掃除をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室で過ごしたい時は居室に帰って頂いています。強制してはいたしません。ほとんどの方はリビングで過ごされる事が多くソファ等でゆっくり話をされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居される時に家族に身の周りの物、テレビやラジオ、家族の写真などご本人と家族が話し合い置いて頂いています。	エアコン、ベット、チェストが備え付けである。自宅で使い慣れた物や大切な物等持参している。家族写真、ぬいぐるみ、テレビ等が持ち込まれ、本人のスタイルに応じて個々に工夫しながら居心地よく過ごせるよう居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	車椅子、歩行器、手すりなどで自由に移動できるようにテーブル、椅子の配置を配慮し席を考えている。トイレや居室に表札をつけご自分で動けるように配慮している。		

V アウトカム項目( 東ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	まだまだ地域の方と共に穏やかに生活できるように（散歩に出かけた時はご近所の方と交流がもてるように等）職員は心掛けている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会の皆様が協力的ででありがたく交流させて頂いている。コロナの影響があり交流も控えていたが今後交流を進めていきたい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	どのような形でお役に立てるかわかりませんがコロナウイルスも5類に変わり介護相談会等行っていく所存です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在はコロナウイルス対策で中止されていて電話や書面での報告、意見になっています。たが9月から再開のめどが立ちました。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナウイルス対策もあり現在は特に協力できる場面もなく機会がありませんでした。今後は出来ることから積極的に取り組みたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については年2回の勉強会を行いました。身体拘束適正委員会を開き目に見える拘束をふくめこれは身体拘束にあたるのでは？と自分たちで自問自答を繰り返しています。帰宅願望の強い入居者様にたいしてどう向き合うかむずかしいところです。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>毎月、スタッフ会議前に虐待の芽チェックリストを記入し自分たちで介護の仕方を反省し悩みを話し合っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>年間の勉強会に組み込み自立支援、成年後見制度について学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前の事前説明、質問する日を設けまた入居後も真摯に説明、対応させて頂いている。納得されないことや疑問については面会時、電話でも対応させて頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見、要望は常に承っております。契約書には介護保険課、国保連の連絡先も明記しております。運営に反映できる事は本社、上司に報告、相談し対応させていただきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1度のスタッフ会議で社長、統括施設長同席のもと意見を聞く機会を持っている。反映できる事は本社で検討している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	本社の人事部へ施設長を通して働き方や労働時間の改善 変更をしている。4月に給料や処遇改善の更新がある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	キャリアアップ研修をオンラインや外部研修を希望者、選抜者で受けている。また研修を受けた者は他のスタッフに伝達し勉強会を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	コロナウイルス対策のため出来ていなかった。機会をみて取り組みたい。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前相談で本人の困りごと思いを聞き取りできるだけ家にいるような気持ちで過ごして頂けるように入居後も希望や思いを察するように努め共有している。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の説明をさせて頂いているが家族の困っている事、どんな風に生活して頂きたいのか家ではどうされていたのか入居後も家族と相談して共に考えながら支援方針を検討させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族、本人が何を困ってどう思われているのかしっかりと話を聴くことから支援していく方針を決め、利用者様に必要なサービスの検討を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人が出来る事は（無理強いせず）に手伝って頂いている。おはぎ作りや団子いなり寿司など手際良く昔話をしながら楽しそうに作業されます。ありがとうございますと伝えると笑顔が見られます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	体調、心身の変化や受診の必要があれば家族に相談し一緒に考えて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、友人 知り合いとの面会や電話の取次ぎを行い今までの関係が絶たれることのないように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士が和気あいあいと雑談されるように席を設けたり隣のユニットに遊びに行かれたりまた月に1度は両ユニットの合同の行事を開催しております。多数の方と関り、独りぼっちで過ごされないように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	今までの関係を保ち、施設が出来ること、相談、支援は引き続き行います。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	集団生活の中で出来るだけ本人の意思に沿った支援が出来る様に本人の気持ちを伺っています。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居される前、入居後も入居者様の習慣、生活歴を本人、家族から聞き取り思考や好み、楽しみ等を理解できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人の朝起きられてからの行動、日中の行動食事、排せつ、入浴等変化を把握しスタッフに申し送っている。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の気持ちを日常生活の中の会話から読み取りまた、家族に希望を聞きながら介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人ファイルや申し送りノートに記入し出勤したスタッフに1日の変化、気を付ける事を書きとめ、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族、本人の希望、必要があればその都度対応している。出来ることは柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源の把握が出来ていないので地域とのつながりが持てる様に積極的に進めていきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>受診の際は必ずご家族、主治医に相談し一緒に検討しながら受診と治療を受けて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎日の検温、バイタル測定を行い食事量、水分量 排泄の観察、記録をしている。特変が見られる時はナースに報告、ナースから主治医、家族に連絡をとり受診、処置等の対応をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には医療連携室、病棟の看護師と連絡をとりあっている。速やかに退院できるようにまた家族と相談の上調整している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に終末期の在り方を家族と話し合い本人、家族がどのように望まれているか希望は聞いておく。必要に応じて再々、方針を相談、詰めて話をしております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	緊急時の対応はスタッフ会議の勉強会で予行っています。実際の現場での対応は慌てるため緊急時の連絡をナース、施設長にとれるように配慮している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	最寄りの消防署からの指導を受けて毎月の避難訓練や水害時のライフジャケットの着用訓練をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格尊重とプライバシーは守るように気を付けている。言葉遣いにはスタッフ同士注意し合い、失礼のない態度で接するよう心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いを声に出して言える雰囲気を作り職員から問いかけるように努めている。こだわりの強い利用者の気持ちを理解し出来ることは自己決定して頂けるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や就寝時間は個人のペースに合わせている。無理強いしない事を基本として活動したり、休まれたり、食事をして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	使い慣れた髭剃りであったり、化粧品を持参され口紅をつけられたり着たい洋服を選んで着られている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節の野菜、旬の食材また苑庭で採れた野菜を使い、利用者様の食べたい物のリクエストを聞いたりして提供している。料理やおやつ準備、下ごしらえ、お盆拭きを手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分補給は食事のお茶以外にイオンドリンク、コーヒー牛乳、ジュース等好みの物を提供し努めて水分補給をして頂いている。食事形態も考慮し出来るだけ自力摂取をしていただき介助を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>朝昼晩の食後に声をかけリビングの洗面所で全員に口腔ケアをして頂いている。ご自分で磨かれた後不十分であれば介助、スアブルでの口腔内の清潔に努めている。また夜間は入歯を預かり消毒を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>昼間は特にトイレでの排泄を促すように声掛けをしている。また排泄の記録を記入し個人の排泄のパターンをナース、介護士が把握し、支援をおこなっている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>1日の水分補給や牛乳、ヨーグルト等の摂取をして頂き歩行訓練やリハビリ体操を行い、運動をして頂いている。出来るだけ自然な排便ができるよう努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員は予定を立てて入浴準備はしているが本人の体調、気分中止、変更をしている拒否される時は無理強いしない。必要な時柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の意思で居室に入られている。夕食後はリビングでテレビを観られたりソファで談話されたり自由に過ごして頂いている。眠くなられた方から居室に帰って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	毎食後の薬を看護師、介護士でダブルチェック。薬の情報は個人のファイルに記載されている。服薬は必ず本人と確認し服薬されるまで確認し異常、気づきがあれば看護師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個人の趣味や楽しみを本人との会話から見出したり家族から情報をもらい出来ることを将棋やおセロ塗り絵、レクリエーションの提供をし参加できるように促している。また外出や面会もご家族に勧めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルスも5類に変わり本社からの許可も下りたので散歩や買い物またご家族地域の方との外出も勧めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と本人の考えに任せているが西ユニットでは現在は所持されていない。必要な物がある時は言われるためご家族が買って来られるかスタッフが買わせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(西ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族、知人からのお電話は取り次いでおります。また本人の希望で家族に電話をかけることもあります。携帯電話の所持をされている方もいらっしゃいます。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家にいらっしゃるような感覚で苑庭が望めたり外の空気が吸えたり苑庭では野菜や花に触れたりして頂いている。季節の花や壁紙を制作されたものを飾っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング内は自由に行き来されている。席を移動されたり、車椅子で自走されたり居室に帰ってテレビを観られたり休まれたりされています。スタッフは入居者様同士の関係に配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居される際にご家族には日常で使われているものを持って来て下さるようお願いしています。配置は本人が好きなよう置いておられます。私物の位置を帰る時はご本人の許可を得てから動かさせて頂いています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビング内の通路、洗面所、トイレには手摺を設置しており日常生活の中でリハビリをしていただいています。家にいる様に生活して頂けるよう努めています。</p>		

V アウトカム項目( 西ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑五日市八幡

作成日 令和5年10月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナウイルス対策のため交流ができなかった地域との交流を再開していく。	運営推進会議の開催を行い地域との交流を再開し活気のある生活を送れるよう支援していく。	9月からの運営推進会議やお祭り、町内会の掃除等の参加をする。	6か月～1年
2	10	運営に関する利用者、家族の意見の反映。	利用者、家族から意見を頂く。	利用者 家族からの意見を聞く機会を作り積極的にコミュニケーションを取る。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。